

それも一局 弟子たちが語る「木谷道場」のおしえ



それも一局 弟子たちが語る「木谷道場」のおしえ

内藤由起子著

昭和を代表する囲碁棋士の木谷実九段（1909～75年）は育成にも力を注いだ。全国の強豪小・中学生を平塚市などの自宅に住ませ53人のプロを輩出。孫弟子も含めた段位は五百段を超えるという。

タイトル戦を席卷した大竹英雄、趙治勲、小川誠子やアマ囲碁界を支える関係者証言から、道場での切磋琢磨の日常生活を明かしていく。師との思い出とともに、活発すぎる年齢の子供＝弟子たち

を母代わりで見守った夫人の献身ぶりが異口同音に語られている。

相撲界や落語の世界にも入門制度は存在する。それらとはまったく異なった指導法を、題名で言い表した。（水曜社・1600円＋税）